

じとせんひろば



No. 50
平成12(2000)年
1月1日発行
地御前地区
コミュニティ推進協議会

2000年の新年を
千載一遇とお祝い申し上げます。

発行50回記念号

今、四十歳代以下は、嫁という立場から妻という考え方に変わってきた。また、長男・長女夫婦が増えており、親との同居も難しくなっている。従って高齢になると



介護教室 講演会

安田女子大学教授・地御前在住 春日キスヨ 先生

介護にんげん模様

— あなたを支えるのは誰? —

十月二日、地御前公民館において標記の講演が行われました。調査資料をもとにした示唆に富んだお話の一部をご紹介します。

なお、先生は朝日新聞に同じ題で四月から毎週連載中で、介護問題の解明に努めておられます。

と納得しました。地域の方達と一日行動を共にして親しくなれたことも、旅の収穫でした。

製塩工場見学の一団



「かんぽ介護教室・男性料理教室」の仕事をお願いし、先生の意図を組み入れ、次回も話し合っていたところ、再入院されました。御冥福をお祈りいたします。



松本さんと(左)広報部

をしていらったようです。そんなお元気な先生が突然入院、退院後に入院中の毎食のメニューを詳しく書いて持って来られ、食生活に関心をもち、勉強、実行、食事療法の大切さを身をもって体験し、健康を回復されました。それ以来、専門書を買集め参考にして、お元気になっていました。新聞などの読み書き、細かい表や図面の作成なども眼鏡なしで完成させていました。

先生のお部屋は本・書類で山積み、その中から必要な書類を取り出して説明、きれいに整理されていたのです。昨年の十二月には

伯方島の 製塩工場を見学して

後町町内会長 山崎 憲子

九月二十七日に地区町内会連合会の研修旅行に参加しました。以前に鷺羽山から眺めた夕日に映える瀬戸の大橋の印象が強くて、しまなみ海道の橋をバスで通るのはあまり感動しませんでした。船に乗り換えて海上から眺めた斜張橋は、力強くそれでいて繊細で、島の緑に支えられているような荘

編集後記

新聞連載中の介護にんげん模様では、「介護をしない男を、人間とは呼ばない」と痛烈である。なお、一面の講演記事については、「です・ます」の語り口調の方がいいと思う、とのことであった。市民学習懇談会が、昨年から町内会をブロックに分けて実施中。映画も感動的だし、運営もそれなりに工夫されている。それでも出席者が少なく、該当の町内会長は人が集まらなかつた。ハラハドギキの問題。同問題は、人権や差別の問題でもあり、女性・子ども・高齢者・障害者・外国人など、決してひとことではない。一般に講演会などの参加は、気分転換や出合いのためにも、効用が大きいであろう。

監事の松本武さんが、十月に八十五歳で亡くなられた。地御前の長老の名にふさわしく、コミュニティを育て発展させてきた人である。ふるさとの写真集を分類・復元し、説明文を付け変えて、地元での展示会も度々行った。ここ数年、当広報紙の後継者作りにも力を入れ、編集技術の実践を指導した。また、郷土料理、介護食の紹介も念願として、中島先生のご協力をお願いしていた。

本紙発行50号を謹んで捧げたい。
○前号記事訂正
管絃祭 陰曆六月十七日

主催 地御前地区コミュニティ推進協議会 生活部
共催 廿日市市痴呆老人を支える家族の会・財簡易保険加入者協会中国地方本部・地御前郵便局

スが多い。周りの者は逃げるが勝ちではない。男も若いうち(五十〜六十歳代)から家事をする能力を身につけてほしい。

「嫁」が看るといのがまだまだ一般的なようだが、長男の妻は他人で、法的には介護義務も同居義務もない。長男がすべての財産を相続できるわけでもない。長男が二・三男の嫁か、どの立場に立っても親を看なければならぬという論拠が見失われている。そうした中で、たまたま看ることになった人には、私が看るとひとこといったばかりにその後悔して、自律神経失調症にかかったりしている人もいいる。男は自分の収入で家族を養っているとの意識で、親を看る妻の大変さを知らない。親孝行したかったら、自分が率先して担うべきだろう。せめて妻には、「済まない」と言うぐらいはきちんと口にすべきである。妻も夫が感謝していると思えば我慢もできよう。介護される側もする側も、家族だから解っているはずではなく、家族だからこそわからない部分がある。

あり、わかり合うための日頃からの関係づくりが大事になる。

■介護保険の認定について

基本の調査内容は85項目にわたる。プライドに関わるからといって、少ししかできないのにならなくて、か、ひどいのに軽いなどと答えてはいけない。開業医の所見も重

「継続は力なり」



前会長
伏本 節夫

昭和五十二年四月一日、県から社会福祉を基本ベースとして、コミュニティ地区の指定を受け、地域を挙げての実践活動により、昭和六十三年一月に知事表彰をトップで受けた。このとき、広報、文化、福祉、体育、生活及び青少年の六部にわたる活動が高く認められたのが特色である。当時の松本武さんの思考力、江草倍平公民館長の指導力によることが大きい。本紙「じごぜんひろば」が、今回で50号の発行に及んだことは、皆様方のご協力の賜物と思う。私

要なので、日頃からかかりつけ医を持ち、良い関係を保っておくことが必要である。どうすればキチンとした判定をしてもらえるか。身近の家族も日頃から、からだだけでなく高齢者が何ができ、何ができないかをよく観察しておく必要がある。 文責・広報部

は二代目の広報部長も務めたが、その折の編集方針を述べてみよう。

目的、行事などを狙って編集し、主題を内容にふさわしい「標語」として掲げ、関連した「主要記事」を載せるようにした。

※人権週間のために、「目に見えぬ差別を見抜く目を養おう」を標語として、「あらためて我が身を見直す家庭の日」を記事とした。

※小方一郎会長の発議で、ハワイ移民百年を記念したハワイ親善訪問が計画され、西向寺及び正行寺の両寺の主催により参加者八十余名で実施された。『先人の遺産受け継ぎ拓こうじごぜん』を標語として、「ハワイ移民百年記念、地御前物語者追悼法要について」を主要記事とした。

※旧地御前電停では、二十四年間に二十一年の事故が発生していた。事故防止のため、現在のように改良する住民運動を行った。『まだ

渡れるはもう危ない』と掲げ、「フラットホームの改善」を記事とした。

※学校の週休五日制問題では、

『若い芽を伸ばしてつくる明るい郷土』として「週休五日制実施への協力」といった具合である。地元の皆様方の暖かい協力は勿論のこと、市(町)当局のご支援のお陰と感謝する。

地区運動会の区割り変更について

体育部長 相良 宏三

地区運動会の区割りについては、以前から地区別の児童数のアンバランスにより、児童やその親世代の選手選出が難しいといった問題がありました。体育部では昨年度の運動会以後、関係者の方々と度々の協議を重ねて参りましたが、八月二十九日の地区運動会全体会議(全町内会長・子供会世話人・コ推協体育部など)において、新しい区割りが決定しました。

二〇〇〇年の第二十二回大会から、新しい区割りによって地区運動会を開催します。関係者の皆様には、変更により多大のご苦勞をお掛けすることになりますが、情

編集に際しては、標語を文学者・大前恵兵衛先生に、古里の色々なことについては、郷土史研究家の渡邊通先生にお願いした。また、編集技術については、西広島タイムスの大山盛長さんのご指導も忘れることはできないと思う。小学校では、私たちが編集した資料を教材として活用されている。有り難いことと思う。

況んや賢察のうえご了承ください。

■新しい区割りの考え方の基本

○児童数のみの均衡化を図る。

○子供会・町内会を分割しない。

○飛び地を作らないよう隣接地と組み合わせる。

■新しい区割り(町内会名)

一区(扇園・金剛寺東・旭・金剛寺西・港・県営住宅の6)

二区(浜・要・丸子・堀・堀中・堀新・中・北の8)

三区(三景園・野坂・野坂住宅・緑ヶ丘・海晴ヶ丘・砂島・後・胡の8)

四区(鹿之子・南・新港・田屋・エスティムの5)

将来、児童数が、最大の区と最小の区との倍率が二倍を超えたときは、今回と同様な考え方で区割りの変更を行うことを、原則とすることも決めました。

スケボーだ！

全員集合！

青少年部長 塚迫たか子

世界的にスケートボードを行う少年達へのイメージは、うるさい、危ない、悪いなどと言われているが、彼らは滑る場所や指導者がなく、地域の中で大人の目の届かない所へ追いやられているのが、広島市周辺を含む廿日市の現状でした。

青少年とは日頃からふれあい、見守り支援する必要があると、県が設けた「青少年育成地域活動日」のモデル事業の指定を受け、各団体と協力してスケボー少年達への取り組みを企画しました。



の必要性なども話していただき、青少年の意識の向上を図ることができました。

当日会場内では大人も禁煙に協力し、ごみの散乱もなく、後片付けでも少年達とプロが協力し合う姿が見られました。少年達の今後に繋げるため、参加者にアンケート調査を行いました。

いること、そしてプロのボーダーの存在も知ることができました。七月十八日(日)が雨天延期となり、二十日に野坂中学校で開催した大会には、参加者二〇〇人、運営ボランティア一〇〇人を数え、プロのボーダーの協力による技術の習得もさることながら、スケボーを取り巻く状況や、マナーアップ

尾道や徳山など遠方からの参加者にも驚きました。駐車場や公道を練習場所としていたことや、「大人からはスケートボードが一般的に、不良少年の代名詞のように思われているが、地域の大人も加わったこのような催しは、お互いに理解するためにもよい」「もっと遊び場を提供し、健全なスポーツとして認め合いたい」などの感想をいただきました。

その後は廿日市市教育委員会の協力を得て、第二・第四日曜日の後、社会福祉協議会の駐車場を開放していただいております。そして、青少年夢プラン実行委員会の「ユアイクラブ」の大人が少年達と共に、スケボーパークを夢見ながら楽しく活動しています。

しまなみ海道二日旅

要町町内会長 佃 正隆

九月二十四日に吹き荒れた十八号台風が、嘘のように爽やかな秋晴れに恵まれて、九月二十七日に地区町内会連合会による研修旅行が、五月に全線開通した「しまなみ海道」を中心として行われました。

廿日市交通のガイド付き貸切り



何はともあれ、良く勉強しておられるガイド嬢の素晴らしい、運転手の気配りは、旅に華を添えてくださいます。

じとぜんひろば



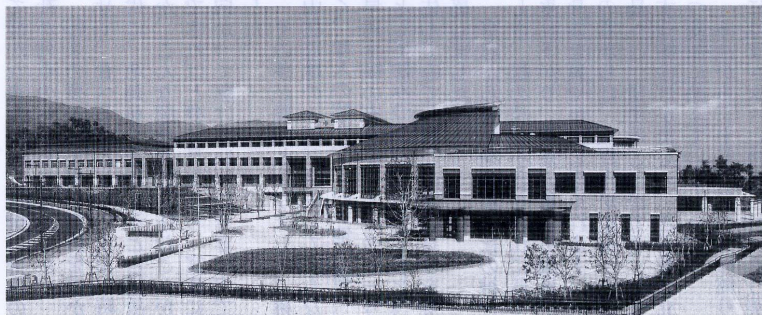
No. 51
平成12(2000)年
7月1日発行
地 御 前 地 区
コミュニティ推進協議会

歴史ある郷土のささえはコミュニティ

No. 51 - H12

お互いをケアする心

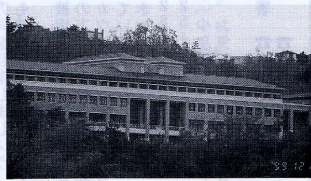
日本赤十字広島看護大学学長 稲岡文昭



本年開設された日本赤十字広島看護大学全景

二〇世紀後半における医学の驚異的進歩は、臓器移植に象徴されるように、確かに、多くの人々の生命を救ってきました。しかし、科学・技術の進歩が環境破壊をもたらしたように、医学の進歩・発展は必ずしも人々の幸福や安寧を約束するものではありません。高齢化社会を迎え、死の恐怖や激しい痛み、堪え難い苦しみや不安、さらには孤独感や無力感などを体験している人々が、今後ますます増え続けてきます。末期癌患者、脳血管障害患者、心臓・肝臓・腎臓疾患患者、痴呆に代表される老人疾患患者などです。つまり、医学の進歩にかかわらず、二一世紀の社会では、何らかのケアを必要とする人々が、健康な人々より多くなることが予測されます。このため、お互いがお互いをケアすることが大事になってきます。これは、何も医学の世界に限ったことではなく、健全な地域社会の発展には、お互いをケアする心、周囲に関心を持つ心、地域

社会に貢献する心が必要です。日本赤十字広島看護大学が、お互いがお互いをケアする心を大切にするヒューマン・ケアリングを核とするカリキュラムを組んでいるのは、このためなのです。将来的に、本学の卒業生がリーダーシップをとり、医療機関で、地域で、行政で、お互いがお互いをケアする心を実践できる看護者の育成を目指しているのも、このためなのです。また、本学では各教授の専門的知識を生かし、地域の方々のクオリティー・オブ・ライフ（生命の質の向上）にお役に立ちたいと願っているのも、このためなのです。この考えを実践するため、本学には、すでにヒューマン・ケアリング・センターを設置し、現在準備しているところです。地御前地区の方々とは、お互いに協力しあって、こころ豊かで安らかなコミュニティの発展に貢献できればと考えています。



地御前側から見た校舎棟

随想

心痛む青少年の犯罪

公衆衛生推進委員 奥野 五朗

最近毎日のように青少年の犯罪が、テレビや新聞等で報じられているが、大変心の痛ましいことです。更にエスカレートして、高学年から低学年に移行して、強盗を始め殺人事件にまで発展しているのが現状です。何が原因で起きる



地御前踊り

な文化を通じて、和やかに人々とふれ合う素晴らしさを感じた一日でした。

生きとした表情をしておられました。声をかけ合い笑顔を交わし、日頃の修練の結果を発表する緊張感、共に喜び合う楽しさから、いい表情になれるのでしょうか。年齢、男女を問わず、郷土芸能

のか、私には想像もつきません。現代の子もたちは、私たちの時代に比べれば、常にエリート的な教育に重点が置かれ、自己中心的で他人のことを考えず、悪いことをしても罪の意識を持っていないと思われ。また、学校教育においても、命の尊さを教えることが少ないのではないかと。もう少し思いやりの心を育て、何事にも責任がとれるような幅広い教育が望ましい。家庭においても、親は子どもの欲しいものは何でも買い与える。必ずしも悪いとは思わないが、何事も親子共々話し合っ、それぞれの言い分を確かめ合意のうえで与えることが必要である。ましてや低学年の子どもに対しては、善悪について親が十分に指導し、思いやりのある子どもに育ててもらいたい。今の青少年の犯罪は、善悪の分別がつかない。罪を犯した子どもの親は、うちの子に限ってと言うし、先生は、学校では成績も良く、あの大人しい生徒がと悪く言わない。私は、常に被害者の事を考え、親も子どものしつけは厳しく、学校でも罪に対する意識を指導して、共に子どもの犯罪防止に努めたい。



三田村さんが地御前を訪問
地御前二丁目 吉本みな代
去る三月十九日に、TBSテレビ番組の「もてなしキング」で、俳優の三田村邦彦さんを我が家にお招きして、もてなしをさせて頂きました。皆さんによる盛大な出迎への歓迎に驚かれた様子ですが、我が家での心を込めた食事（酢ガキ・馬刺し・はっすん・おでん他）のあと、地御前公民館をお借りして、家族の演芸（釜山港へ帰れ・相撲甚句）も見て頂きました。雨の中、たくさんの方々の皆様の応援もあり、何とか大役を果たせて三田村さんにも喜んで頂き、正直なところホッとしております。番組は二十七日に放映されました。三田村さんからは、お返しに佐伯区民文化センターで、やがて君は季節の中へを歌って頂き感動しました。これも多くの友人、地区の皆様のご協力があったればこそ感謝の念に堪えません。本当にありがとうございました。

コ推協新役員

顧問（再任及び新任）

黒田 勝敏 地御前協賛会長
美川 治巳 J 地御前支店長
宇佐美 妙子 地御前小学校長
砂堀 正治 野坂中学校長
加藤 安喜子 地御前保育園長
伏本 節夫 前会長

監事 山崎 憲子（以降新任者のみ）

理事 事町内会長
藤原 一二三 園 若宮 譲要 町
胡 敏秋 後 鎌田 慈鹿之字 町
石川 益弘 桃山 町 井上 良宅 田屋 町
田屋 興典 新港 町 新開 謙次 多 益 町
藤岡 照雄 三景 町 信川 香代子 野坂 住宅 町
高野 俊明 緑ヶ丘 町 高木 哲治 自由が丘 町
理事 各部副部長
松本 末人 文化部

編集後記

皆さん文章が上手。本号は変化に富み読みごたえがあると思う。市民待望の四年制大学が、四月一日に開学した。朝な夕な山の手に見えるクラシック調の校舎棟は、地御前の新しい象徴となるだろう。桃山・自由が丘が誕生して、二十九町内会となった。戦争の悲惨さを垣間見る体験記は、戦後生まれの人々にぜひ読んでもらいたい。可愛い園児が歌ったのは、「ホホ」と「チューリップ」でした。「ハゼの木」は知る人も少なくなつた。今後もふるさとの歴史探訪的史実を掘り起していきたい。

私の地御前 桃山

桃山町内会長 石川 益弘

桃山町内会には住民の増加によって、本年度より南町町内会から分離、新しく発足した町内会です。約三十五年前に開発業者が、桃山と呼ばれた小高い丘を西側と北側の一部を残して開発し、新興住宅地のほりとして誕生しました。

戦後、私は福山の奥地から職を求めて広島にやってきて国鉄に入り、短い教育期間を経て車掌として、糸崎―柳井間の列車に勤務していました。広島は復興の緒にいたばかりで、街はやっと建物の瓦礫が片付けられ、駅前にはパラックが建ち並び、カーキ色の軍服を着た復員軍人や家を失った人々、戦災で家族を亡くした子どもたちが、何かを求めて狭い不衛生な路地を右往左往していました。

乗務で貨物列車の最後部の緩急車に乗り、荒廃した広島の街を離れると草津の海岸が目に入り、戦災をまぬがれた郊外の平和な町並みが、海軍飛行予科練習生として戦争に参加、悲惨な光景を目撃し、残酷な軍隊生活で傷ついた、私の心をいやしてくれました。海水浴場のあった楽々園、廿日市駅を経

て静かな森の中に、地御前神社の社が列車の窓から見えました。

将来の夢が持てず、お腹を空かせて、食べることに考えない時代に、地御前を通過するとき何故か、こんな閑静な所に住むことができればと夢を見ながら、宮島に向かつて駆けていった青春時代でした。

その夢が現実となりました。桃山住宅地の一部が完成して間もなく、知人の紹介でこの土地を購入し、早速念願の家を建て入居者第一号として住みつくことになりました。任んでみて一層この地の良さを実感しました。

車窓から見た地御前神社の神々しさ、松の枝が小さな入江に低く垂れ下がり、真夏の暑さも潮風が身体を爽やかにしてくれます。家の窓からは、瀬戸内が広島から宮島へ一望することができ、往來する船の灯が美しく、さざ波の立つ海面に映えていました。あれから三十年、私の家の周りには家が次々と建てられ、もう美しい瀬戸内の景色も見られなくなり、神社の樹齢数十年、数百年の松の木も一本一本と松喰虫の被害で枯れていきました。海岸に下りて貝掘りすると、すぐバケツ一杯のあさり貝が採れたのも昔のこと

になり、残された西側・北側の山も崩されてなくなりました。

桃山という地名の由来となった大久保という種類の桃は、果実がしまつて甘くジューシーでしたが、もう昔話になってしまいました。

今は近くに大病院や大型スーパーがたくさんできて、生活が大変便利になりましたが、一方、雅やかな響きの地御前という地名が連想させる社の中世の面影が、時代と共に失われつつあるのは残念です。

子どもたちも元気に

自由が丘町内会長 高木 哲治

生れたばかりの可愛らしい（現在二十六戸）町内会です。スタートが大切、全戸が集まって話し合い『親睦と福祉の増進を図り、安心で住みよい町』にしていこうことを確かめました。私たち一人ひとりが責任を持ち、その願いや意見が町内会全体のものになるような町づくりをめざして。

町内会が、とかく行政の末端のように見られる面もあるようですが、自分たちの生活の場で、暮らしを守り育てていく集まりのほです。そのために行政などに願いもし、求めずすることもあるでしょう。

う。先輩町内会の皆さんとも協力し合って、孫子の代まで、住んで良かったと思えるような町にしたものです。

若い人、とりわけ子どもが多い町内会です。子どもたちが生き生きとした、夢のある、活気あふれた町にしようとした大人たちも話し合っておりま。子どもたちの夢を育てるのは大人の責任です。

子どもたちの非行防止と健全育成

被害にあわれた方の精神的な支援のために、

廿日市警察署地御前交番

子どものことで一番悩んでおられるのは、保護者の皆さんです。解決の糸口を見出すために、多くの保護者の皆さんが「ヤングテレホン」を利用されています。

あなたのダイヤルをお待ちしています。悩むということは、真剣に考えて、より良い方向を目指しよう。どんなことでも遠慮なくダイヤルしてください。

犯罪などの被害を受けた子どもさんや保護者の方の精神的な苦痛を和らげるため、カウンセリングなどの支援活動も行っています。

◎ヤングテレホン
082-2258-3993 (TEL)
082-2258-3993 (FAX)
◎警察署で「少年相談」を受け付けております。お気軽にご利用ください。
廿日市警察署
地御前交番
☎3110110
☎3612610

「ふるさと」の歴史探訪 と存じ？市天然記念物

ハゼの木



御手洗川の橋を渡って金剛寺の方へ行く途中の道路沿いに一里標の石柱が立っている。

それには、広島市内の元安橋を基点として四里と記してある。この一里標が立てられたのは明治十八年であるが、その距離を大体のところ確認したが、よくもその当時に計測されたものだと感じた。話は横路にそれだが、道路をそのまま真直ぐに行き、見上げると丘の上に一本の木が立っているのが見える。登りつめてみると市の天然記念物のハゼの木である。

そこからは地御前の街並が手に取るように見える。

このハゼの木は、定かではないが二〇〇年近い樹齢を重ねていると思われる。最近台風二度も直撃を受けて、樹勢は衰えて腰の

曲がった老樹となった。往時の写真と資料を見る限り、樹葉が繁茂し樹高は現在より倍以上あった。

地御前は一二〇年前までは、山が海岸沿いまでせまる地形であって、人々の行き来は山路を通過していた。現在の道が整備されるまでは、ハゼの木の丘を越えて地御前のまちに入るのが、その当時の経路の一つであった。

この木の傍らには、昔から隣村との境などに道の悪霊を防いで行人を守護する神、つまり道祖神としての塞の神が祀られている。

ハゼの木はその果皮から木蠟が採れ、江戸時代の初期に蠟を使った燭台のことや、器具の艶出しなどに用いたことが文獻に出ているので、蠟を採るため植えられたものかと考えたが他に見当たらない。ハゼの木はウルシ科の植物で、その樹液でかぶれやすい。そこで塞の神と同じように厄除けの意味で植えられたのではないかと思う。それで塞の神は古くから祀られていて、ハゼの木は後に種を落としたものと推測される。

ともあれ、往時の行き交う人のひとときの憩いの場となったり、また秋になると、ひととき美しい紅葉となり人々の心を和ませたのである。

時代の変遷を重ねながらも、今日も黙々とこの街を見続けている。

ハゼの木の立つ丘に登りて

われひとときの

旅人となれり

(文責 奥野 法保)

ふれあい祭り 雑感

地御前保育園長 加藤安喜子

桜花咲き乱れる日曜日（四月九日）の昼下がり、地御前地区ふれあい祭り（コ推協文化部主催・於地御前公民館）は、おめでたい「黒田節」の大正琴の演奏で始まりました。呼吸を合わせての美しい音色に感激。

仕舞、日舞、舞踊、県民踊、剣舞と、若々しくしなやかに、そして堂々と腰がすわり、修練のあとが感じられました。演歌では、歌詞のイメージを膨らませながら、人生を語られているようでした。祭りの半ば、いよいよ保育園児の出番が近づいてきました。「ドキドキする」「いっぱいおって？」



夫、大好きな歌ですから……。皆様は温かく耳を澄ませ笑みと拍手をおくってくださいました。「よう歌ったね。元気で大きくなるんだよ」。

数分でしたが、恥ずかしさや照れを克服して発表できたことが、「ホッとした」「もう一回歌いたい」の声が出るほど喜びへと変わっていったのです。こういう体験を積み、ものに動じない心情、態度、意欲が育てばと思います。

祭りの中で皆様は、とても生き

平成13(2001)年
1月1日発行
地御前地区
コミュニティ推進協議会

じこぜんひろば



新世紀2001年一步一步進みましょう

新世紀年頭の御祝辞申し上げます。以前の地御前は、秋祭りの後もみや盆踊りが盛んで、近隣からも見に来られました。良き郷土文化や伝統を受け継ぐため、地御前公民館で「郷土民謡伝承講座」を

井上 良宅

十一世紀を迎えようといふ言え、毎年変わらぬ神明奉仕の正月です。呑気に正月を過ごしてみたいと思うこともありすが、私にとっては忙しい正月こそが正月であり、それが一番の幸せでもあると思います。識者の方ではなく、今年も日本人としての誇りを持って過ごしたいと思っています。

飯田 元隆

新年おめでとうございませう。二十一世紀を迎えようといふ言え、毎年変わらぬ神明奉仕の正月です。呑気に正月を過ごしてみたいと思うこともありすが、私にとっては忙しい正月こそが正月であり、それが一番の幸せでもあると思います。識者の方ではなく、今年も日本人としての誇りを持って過ごしたいと思っています。

荒木 尚子

今、世界中では、百数十ヶ所で紛争が起きているようで、多くの犠牲者の様子が胸が痛みます。二十一世紀は、是が非でも戦争をなくし、平和で美しい地球を目指さねばなりません。皆が自己中心を戒め、常に相手を思いやる優しさをもつようにしたいものです。

私も我を張らず、全てを素直に受け入れるおおらかさと優しさに努めたい。体はまめに動かし、心はゆったりと、と思う昨今です。

棋士）ほか関係者の努力によって、九月末に実現しました。宮内・阿品台・宮園・地御前・串戸・四季が丘の六公民館各五名のリーグ戦、阿品台と同一勝数となり、最後は全員によるジャンケン勝負も伯仲しましたが、幸いにも我が囲碁クラブが優勝しました。当クラブは毎日曜午後、公民館和室で対局を楽しんでいます。春秋の年二回は、近隣から四十名近い参加を得て、囲碁大会を開催しています。最近、スイス方式の対戦システムをとっており、これはゴルフ大会に似て、ラッキー賞、飛び賞、ブービー賞を設定できるので、参加者の大方の好評を博しているようです。



市内の保育園・幼稚園で幼児に囲碁遊びを体験させ、感性を育てる試みがかなり定着しました。当地区でも、「廿日市子供囲碁の会」がこれを提案しているところですが、更に、ご婦人方が囲碁を学ばれ、子ども（孫）さんと一緒に遊べれば、情緒安定、右脳鍛練、相

ふるさとの歴史探訪

平成の元号は地御前神社境内の国道開鑿の碑から発信されていた！

「そりゃーそーとう槍出しの坂あきついし、夜はいびしうてどうにかせにゃあやれんで！」。地御前の海辺を通る道ができるまで、宮内の槍出しの坂を越えて四郎峠から大野中山に通じる道は、だんだんとこのような不評を買うようになってきた。

「県の方からの要請があることだし、新しい道をつけようじゃないか」と、民衆の力が結集したので、明治十一年であった。

新しい国道にとりかかりはしたが、海岸沿いにせまった山をくぐらずし、岩をうがつ難作業は、文字通り開鑿という掘り開いて進む作業であった。その当時の日当がわずかに米五合と聞か、今というボランティア事業であったに違いない。

廿日市一太竹間を平坦な新国道に二年間でつけ替えたのだから、すばらしい偉業といわなければならぬ。

新国道ができて、時あたかも明治十八年に明治天皇が山口、広島、岡山の御巡幸のにおりに、聖駕をお通しして天皇をお迎えすることができた。この慶びとともに新国道の偉業を後世に遺すため、天皇御巡幸の機に有栖川一品親王の地平天成のてん字の書を賜り、明治二十年に開さるの碑に題字として刻まれ、地御前神社の境内に建てられて一層意義あるものとなった。この碑に刻まれている地平天成とは、中国の書経・春秋からの出典で、世の中が平穏で万物が栄えること、また、地変や天災がなく自然界が穏やかであるという意味である。

現在の平成の元号のもととなったことは周知の通りであるが、もうそのときから平成の元号となるべく、この碑から発信されていたと思えば奇遇であり、ようやく目の見た感じがする。碑の裏面には、新国道改修に従事された五一〇名の御芳名が刻まれている。碑は苔むして来て、とかく便利になった道路にかくされた苦労が

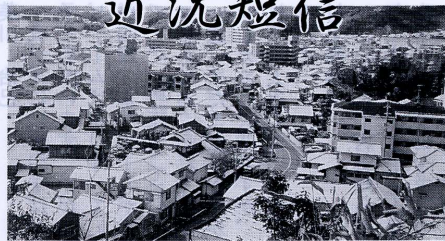


親王の地平らかななる願いから道は天に通じてめでたく平成の元号となる（文責・奥野法保）

編集後記

多くの人に登場していただくため、「近況短信」を企画しました。生き生きとした生活振りが伝わります。次回も貴方の番です。「じこぜん花壇」応募者数三八〇人、全世帯数（戸）に対して約一六％と人気上々。花達に喜びを。「わが人生に悔いなし」地御前公民館、九月永福学級の講演題名です。長かろうと短かかろうと、むずかしかりうとも。（N生）

近況短信



21世紀を迎えたことに因み、じこぜん21人衆揃い文、私の近況に今年の抱負を添えていただきました。字数100文字前後（150字まで）の制限で、たかが100字されど100字。思いを込めた珠玉の小品集です。

開いております。子供達や親戚の方が見に帰られるような、活気のある町にしたいものです。鎌田 想

鹿の子の小さい丘に建つ地藏堂（水子地藏ともいう）が、平成十一年の台風18号で被害を受けたままでしたが、町内の予定を越える

募金で修復され、八月の縁日には手づくり団子供養が行われました。平成十二年七月二十五日、鹿の子に隣接して三六五日、二十四時間営業のトラックステーションが建設されようとした時、町内あげて反対署名活動が始まりました。短期間に四、一〇〇名の署名をいただいたことを感謝して

砂掘 正治

二十一世紀という言葉は、何か新たな時代の到来という感じを与える。この新しい時代を生き抜く子ども達に、大人として何を伝えればよいかと考えている。そこで、伝えるためには先ず地域の子ども

昨年十一月下旬、わが家に二人の外国のお客様をお迎えしました。廿日市の子ども達と囲碁を通じて国際交流のため、二泊三日でクロアチアから来廿された父と娘さん（二十一歳）です。年に二・三回のわが家の国際交流（ホームステイ受け入れ）は、お金のかからない海外旅行のつもりで、できる限り続けたいと思っています。

相良 美登

二十一世紀を迎え、地御前の素晴らしい自然の中で、皆が幸せで健康に過ごせればと思います。

北野 英子

住めば都といいますが、庄原から地御前に嫁いで約十年。家事に育児に仕事にと、あわただしい毎日ですが、海の幸をたっぷりいただき、お陰様で家族全員、元気に過ごしています。

います。

この二つとも二十一世紀の子供たちへの大人の想いがこめられた活動でした。

達に目を向け、話しかける事から始めなければと思う。そして、大人達が持っている体験をさせてやりたい。

長 良生

僕は今、広島工業大学の三回生です。今年から就職活動を始めなければなりません。しかし、僕にはまだ明確な将来の夢、就きたい仕事が見つかっていません。三年間何をしていたのかと言われれば、言い返す言葉はないでしょう。しかし、少しずつではあります。やりたいたことが分かるようになってきました。なので僕は自分のペースで将来について、今年は考え行動していこうと思っています。

中島千鶴子

地御前コ推協生活部の「男性料理教室」「健康教室」及びボランティア（広島小児糖尿病「もみじの会」）でのサマーキャンプ、クリスマス会等と共に、公民館でのフォークダンス（なかなか大変です）、ヘルスマイト（人との出会い）を楽しんでいます。

二〇〇一年を迎えて更に、今年から開く運びとなった栄養（料理）教室では、最新情報を取り入れながら、一緒に勉強して行きたいと思っています。そしてパソコンにどこまで挑戦できるか楽しみにしています。

ています。

中谷 満

艦船を運行するには取舵、面舵、宜候の命令語がある。右に左に操舵して宜候で目的地に着く事ができる。しかし海洋に出ると、潮流、風向等、気象状況によっても真つづくに宜候で進んでいても少しずつ進路が変わる。そこで操舵手は当舵を使うことになる。船首の動きを見て左右僅かに舵を利かす事が当舵であって、人生航路にも通じるものがある。時と場合によっては自我が捨て、他の意を介して当舵をとる必要があり、二十一世紀が自分の歩んだ道よりも良い時代である事を願う。

中山 薫

議会制度が始まって今年は何十一年目に当たります。憲政の神様と言われた尾崎行雄先生は、『人生の本舞台は常に将来に有り』という有名な言葉を残されておりました。これは先生が九十四歳のときの言葉で、今も憲政記念館正面の庭の碑に書かれ、後世に伝えるべく建てられておられます。新世紀の新春にあたり、私たちは常に将来を見つめていきたいと思っています。

西田 弘展

みんなが、それぞれ一生懸命努力しておられる世界に、足を踏み

込ませていただき勉強させてもらっている。それぞれに本当に必要なことを考え、良くしようという気持ちがうかがえる。ただひとつ、これに有機的なつながりがあれば、もっと楽しくなる。この流れは風や川の底の地形にも原因がある。流れに負けそうな河童の声

美川 治己

我が家には男の子ばかり三人の子どもがいます。上が八歳、テレビゲームばかりやっています。中が四歳、まだゲームができないのですが、興味津々で兄ちゃんのジャマをしておこなっています。下は一歳、まだまだ手がかり、オヤジも力も大変ですが、みんなそれぞれ大きく育って行くのが楽しみです。

村上弥津子

この歳まで病氣知らずで一生元気で過ごせると信じてきましたが、昨年、癌の手術を受けてショックでした。でも先生や看護婦さんの温かい看護、退院してからは友人知人の様々な心遣いに接し、人の心の美しさを感じました。元氣になったら、これまで受けたご恩のお返しをしなければならぬなど、歳を考えながら頑張っています。みんなが美しい心を以て何事にも接すれば、二十一世紀はきっと良

い時代になると信じています。

山崎 恵子

晩秋の一日、鳴門の大塚国際美術館を訪ねた。原画を見る感動には及ばないが、いながらにして世界の名画が原寸大の陶板のコピーで見られ、シロティナ礼拝堂のミケランジェロの（最後の審判）と（天地創造）は圧倒的だった。

翌日、愛媛県野村町、ふるさとに会える村、をテレビで見て、五十年前の地御前村が重なるって見えた。

吉本 恒雄

野坂中学校おやじの会は、子ども達のより良い成長を願って、昨年発足したばかりの会です。会員は保護者や教師、そして地域の方々の修繕等を行ってあります。今日、学校教育に目を向けた活動が全国的な広がりを見せており、特に父親の積極的な協力が必要とされています。

教育活動はまさに未来の創造と言え、家庭や学校はもちろん、地域全体が連携し、二十一世紀を担う若者を育てていくにはありませんか。

米倉 茂治

いつの頃からか、ごく自然に地御前の〇〇です、と名乗るようになった。この町の名は大河ドラマのお陰で全国的になり、故郷の同窓会でも通じる。

金木犀が咲くと、祭とハナを思いうすという子供達は生粋の地御前育ち。彼らの懐かしいふるさと。そして私にとっても第二のふるさと。この町に住んで三十七年になる。

若宮 亜弥

衣食住の衣で二十一世紀に残したいと思うものは、和服だと思えます。ロイヤルコスチュームの中では千年も型が変わらないそうですが、これも珍しく、どんな体型でもきれいに包み込み、特に女性はこの一番の時にぜひ着てみたい衣装ではないでしょうか。世界に誇れる美しく伝統ある民族衣装をぜひ次世代に残してほしいことだと思います。

匿名希望

定年退職後、二年余りになりましたが、月に数日はコミュニティ、公民館活動、保存会の活動等で送日し、気分転換となっております。十一月からは元の会社よりパートとして会社の手伝いを依頼され、車で片道二十五分の通勤と久し振

りの仕事で、年令を感じている今日この頃です。

元年からは意気込み倒れにならないようにと……。

匿名希望

現在九十六になる母を病院に見舞う毎日だが、親孝行のできる事に充実感を感じている。この経験を通して高齢化が進む中、お年寄りと接する事で自分の老いについて学ぶ事が多く、積極的に取り組む事の大切さを実感している。

又、現実をしっかりと見詰め、次の世代（二十一世紀）に確実にパトタッチをして、お年寄りが夢と希望をもって暮らせるよう、乞い願うものである。

小方 明

郷土雪景（写真）

二ツ山（28m）定点より、元乳子山（25m）跡方面を望む。日赤看護大学が山手（56m）に見えるようになった。

地御前地域づくり実行委員会

会長 北川 護

昨年十一月二十三日の「じごぜん花壇」の申し込みから、花いっぱい運動がスタートしました。応募総数三百八十人、八百四十セットと予定の数を大幅に越えたため、一人一セットとなりました。



～咲かそう花を 節ろう地御前 つなごう心と心～

じごぜん花壇

廿日市市が新たに、「地域づくり支援事業助成金」の制度（自治振興課扱い）を設け、地域の方々が企画立案する各地域の特色を生かした「個性」と「魅力」あるまちづくり事業に対して助成金を交付することになり、地御前地域には九十二万円が提示されました。このため、当地域の各種団体役員が集まって、「地御前地域づくり支援事業特別委員会」を設置し、地御前コミュニティ推進協議会が窓口となって、次の四事業について具体的に検討を行いました。

- 一、海岸及び港を利用したもの
- 二、自然体験（中学校裏山）
- 三、じごぜん遊びん祭（競技）
- 四、じごぜん花いっぱい運動

その結果、今年度は多数の皆さま

んが参加でき、じごぜんの街角を花で飾り立てて夢を与える「じごぜん花壇」（花いっぱい運動）を実施することになりました。事業主体も、「地御前地域づくり実行委員会」と改めました。

「じごぜん花壇」セットは、「ノースポール」「パンジー」「チューリップ」を組み合わせ、プランターに赤い文字のステッカーを貼った、とても見栄えのよいものになりました。公民館での配布日は大盛況、今は皆さんも植え付けを済ませ、あそこにもここに、学校、病院、商店街にも、道筋を美しく飾り立てております。

今後は、戸別観察（写真撮影等）により、良く咲かせたで賞など、皆さんに慈しまれて花壇を表彰したいと思っています。町のあちこちで咲き具合を話題にして頂ければ幸いです。

実行委員会ははじめ、皆様のご協力ありがとうございました。今後ともよろしく願っています。

囲碁への誘い（いざな）

地御前公民館囲碁クラブ代表

森山 智親

第一回廿日市市公民館交流囲碁大会が、山田七段（日本棋院地方

じごぜんひろば



No.53
平成13(2001)年
7月1日発行
地御前地区
コミュニティ推進協議会

この町に 心をよせ合う じごぜんっ子

この四月から、三十八年間の中学校教職生活を定年退職し、公民館勤務になり、いささか緊張しております。

さて、公民館の和室には、元広島県知事宮沢弘氏の揮毫による「集い、学び、結ぶ」と書かれた掛け軸があります。この掛け軸は、地御前地区が昭和五十二年四月、全国に先駆け広島県社会福祉協議会より「地域の福祉づくり実践地区」として指定を受けた時にいただいたものです。

この言葉のよう以来、コミュニティ推進協議会は、地御前の皆様の協力を得ながら長年実践されてきた輝きわたる経緯があります。

これまで短い期間ですが、コミュニティ活動のふれあい祭りや地区運動会に参加して、その活動の一端を体験させていただきました。このような活動は、地域の皆様が自らの力で、みんなで、人づくり、ものづくり、



地御前公民館長
星野 昭治

ふれあい公民館



「いざ出陣」23回地区運動会 5月

昨年、縁あって地御前に引越して来た。今年の町内会総会で町内会長に選任された。

まず、地区内を巡回し、地域環境の現状把握と各家庭の位置確認から始めた。

地域活動については、私は仕事を理由に妻に任せていた。しかし、地

地域活性化への取り組み

掘新町町内会長 円山 英和

まちづくりを目指した重要なものです。

公民館も、さわやかな笑顔と挨拶で、人とのふれあいの場になるように、地域の施設として利用しやすいように、館員一同邁進する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

コ推協 新役員

(H13年度新任者のみ)

- ◇会長 相良 宏(三ツ栗町)
- ◇監事 七字 寛重(緑が丘)
- ◇顧問 山根りょう子(地御前保育園)
- ◇常任理事 飯田 元隆(南町)
- ◇理事 事町内会長 久内(金剛寺西)
- ◇理事 久夫(扇園)
- ◇理事 雅文(胡町) 佐伯(仁北町)
- ◇宮本 育生(中町) 松本 吉勝(南町)
- ◇新開 成子(エスティム地御前)
- ◇加美田 勉(砂島) 中島 信夫(三景園)
- ◇松本 憲明(緑が丘) 益田 照男(野坂)
- ◇小西 久栄(海晴が丘) 円山 英和(掘新町)
- ◇村上 昭登(自由が丘)
- ◇理事 事団体代表者 中村靖富(地御前小学校PTA会長)
- ◇向 往 桂野坂中学校PTA会長
- ◇北野 俊二(地御前保育園保護者クラブ会長)
- ◇理事 事各部副部長 佃 正隆(生活部)
- ◇北川 徳夫(文化部)

参加前には予想もしなかったことがある。参加者の目の色が違うこと、どの講習会も満員で二回目からの欠席者が皆無であること。私のパソコン歴は長いだけで専門知識は片寄っているが、何よりも長い間苦労したため、受講者の気持ちがよく分かるので、「受講者の味方」をモットーに参加している。郷里の方々とおつき合いは楽しいばかり。

ところで、受講者の息子さんやご主人にお願いがあります。パソコンはこわれるものではない。「息子がパソコンにさわらせてくれない」との訴えがなくなるようにお願いいたします。

《ふるさとの歴史探訪》

地御前神社建立の秘話

するがなる 富士をば安芸に引きかへて 上見ぬ驚の山の尊とさ

地御前の北方に聳える通称、観音山のことを鎌倉時代の初期の歌人西行法師が真言密教を修めるため陸奥・中国・四国の行脚の折、このように富士山の美しさになぞらえてうたわれた。

平安時代に空海や最澄によって密教がもたらされてから山の頂にある極楽寺は霊驗あらたかな観音

信仰の場として崇められ、のちに後鳥羽上皇から西行法師のうたを参考にされて上不見山浄土王院の勅額を授けられた。

さて話は厳島へと場面は展開する。と、ある晴れた日のこと厳島弥山の頂上にひとりの武將が立っていた。荒々しい体つきではあるが目は澄んでいて。やおら右手を上げて眼下の厳島神社から遠くの山の一角に向けて指差した。その山はまぎれもなく極楽寺山であった。

この武將こそ厳島神社の隆盛に大きな貢献をした平清盛であった。厳島神社は平安時代末期に佐伯景弘が社殿の造営をしたが、平家一門による厳島社参を契機に大きく変った。

祭神は伊都岐島大明神であるが「観世音菩薩の化現」とされ、新しい観音の霊場として参拝者は引きも切らず賑わった。観音信仰は「極楽に生きて望みを果たす」とにあり、因に極楽寺という名もそのところからきている。

平清盛は当時は後白河法皇のもとで活躍していた。法皇は再三、本地物の一つを千手観音とする熊野三山へ京都から大勢の伴を引きつれて参詣していたし、鳥羽上皇の下で仕えていた西行法師のこと

など見聞きしており、そのことがいつも脳裏にあった。厳島神社に参拝するため近隣の島々からもやってくる人々が増えてきた。行くことこの出来ない人達のため、にその土地に分社も出来た。祭礼の日にはそこでも賑やかに行われるようになった。

平清盛は厳島の本社に対して摂社を建立することを思案していた。厳島神社が海上面にあることから、地方である神社の候補地を探していたのである。弥山の頂上から指差した眼下の厳島神社を経て極楽寺までの直線上の間で陸地と交わる地点は……なんと！現存する地御前神社の位置であった。



られた建物や海辺側に美しい磯松が三々五々と続き、それは美しい自然景観であった。

一本の線上に浮かんで来た地の御前(地御前)は爾来、神社と共に栄えてきた。そのころを偲ぶものは数少なくなってきた現在、往時の栄華を心のよりどころとして大切に守り続けていきたいものである。

地御前
おかげんの船
(文責 奥野法保)

編集後記

5月から地御前の町に満開色の桜バスが、東西循環試乗いかが。ガチガチと鋭い音と強いゆれの芸予地震、ゴーと道も波打ったという。IT講習(情報通信技術)は地御前公民館で、12時間コース13講座の募集、ほぼ即日満員とか。本紙前号でご寄稿いただいた北川様と村上様がなくなりました。ご冥福をお祈りいたします。N部委員募集！生活部・広報部

その後の じごせん花壇だより

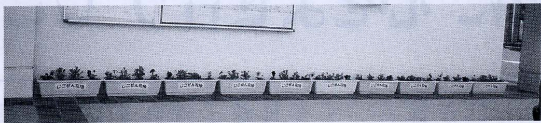
二〇〇〇年度の地御前まちづくりとして、花いっぱい運動「じごせん花壇」が行われたことは、既に本紙前号で報告されておりあります。

年度の終わりに、花壇をテーマとした作品応募の模様とアンケートの集計結果が、地御前地域づくり実行委員会（若宮悟会長）によってまとめられました。

応募作品は、絵画45点、写真3点、花の詩7点、エッセイ1点に及びました。アンケートは次のような結果となりました。

- ①「じごせん花壇」を存じてでしたか？
- ②知らなかった2
- ③育ててみていかがでしたか
- ④大変よかった25
- ⑤よかった7
- ⑥あまりよくなかった0
- ⑦申し込まなかった7
- ⑧育ててみた感想

⑧まちのあちこちで美しい花が見られ、心温まる気持ちでした
⑨まちを歩いていて花壇を見かけ



「整列・地御前小学校」若宮悟さん作品

ると、連帯感を感じた
◇植物を育てることで親子のふれあいが増えて良かった
◇花つきも良く大変見事に咲き、私にも育てられると嬉しかった
◇植えるだけの状態で手が

以下、可愛い、きれい、明るくなる、和む、親しみ、慈しみなど、花壇に好感を持つ感想で占められており、このような運動を推進してくださる方々に感謝したいとお言葉もありました。

四、二〇〇一年度の地御前のまちづくりは、どのような企画がよいと思われるか？
この問いに対しては、「青少年の育成」「ボランティア活動」「地御前としてのイベントを増やす」などの提案もありましたが、「花が沢山ある町に」「今度は参加させていたきたい」など「花壇」を続けてほしいとの意見が多数でした。（文責 広報部）

《花壇テーマ応募作品》から

待ち遠しい春 元山 延子

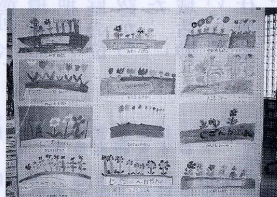
去年の十一月二十九日、地御前公民館でお花を配るということで、

朝十時前に早速買いに行った。私はパンジーが好きなので、くじで当たればよいがと思っていたら運よくパンジーが当たった。

一ヶの白いプランターとパンジー四ヶ、チューリップの球根四ヶと他に土や肥料、そして説明書を貰って家に帰った。早速、説明どおりにパンジーとチューリップの球根をプランターに植え込み、土の表面に肥料を並べ水を十分にまいた。そして、なるべく日当たりの良いところへ持って行き置いた。

それから毎日毎日子育ての様に慈しみ、子供の顔をみる様に育てていった。表面の土は乾いていないか、肥料は土の中に浸みこんでいったか、咲き終わったパンジーの花がらは、つみとって手入れをした。今は次々とつぼみが出てきて、絶え間なくきれいな模様の花びらを広げて咲き誇っています。

二月の末ごろ、残り半分の肥料を土の表面に並べて、水をたっぷりまいてやりました。ところがよくみると、チューリップの芽が伸びてきて土の表面に顔をのぞかせているではありませんか。私は思わず「わあ、チューリップが出て



「お花が笑ってるよ」地御前保育園

十二月から二月までの厳寒の冬を耐えて、命が育まれてきた植物の強い生命力に、私は少なからず圧倒された感じがしました。

美しく強くかわいらしいチューリップが、四月には咲いてくれるだろうと期待して、今から暖かくなる春を待ち遠しく思っている。

春よ はやく来い来い！

特集

あなたの体験記
芸予地震・IT講習会

恐怖の地震そのとき 山野 現代

私は室外で姫椿と語っていた。ガタガタと音を立てて揺れ始めた。揺れている最中はどうにもならない。動きがとれな

い。動きがとれな。頭の中は、家族がどうしているだろうか、妻は友人と病院へ行っている。

長い揺れが収まり、ほっとした時妻の声、何処にいるの！
玄関や窓は開いたまま、飛び散っ

気軽さで第一期生になった。受講生は30〜40代の女性が殆どで、自分以外は経験者に思えた。

聞く用語はチンパンカンパン、電源の入れ方からまごついていて、素早くアシスタントの女性が背後から、やさしく丁寧に教えてくれた。

受講12時間では駆け足だが、パソコンとインターネットは大体理解できた。知らずとも日常生活に支障はないが、時代に相応した情報は人生を豊かにし、視界が広がることは事実、ITはそのツールである。

ちなみに私はパソコンを持っていない。さでどうするか。

パソコンとのつきあい本庄 省吾

受付日の未明から並んでやっと受講者メンバーに入れました。

パソコンは、定年退職するまでにワープロから買い替えており、文字入力、印刷等はできていたが、我流で基本を勉強していません。

種類、インターネット等を改めて勉強する気になったためです。公民館での講習は二〇人クラスの懇切丁寧なものでした。私は土曜日の夜間、娘は木曜日の午前中に受けることができました。

私が文字入力の練習をしていますと、五歳の孫娘がいつの間にかそばに来て見えています。講習で覚



心熱き受講者達 ファイト！

えたポイントによる絵の描き方を教えると「ポイント・ドラッグ」などと言いがらマウスで絵を描き、色つけをして喜んでいきます。好奇心旺盛な孫は苦もなく覚えるようです。

講習を基礎に、今後も家族一同でパソコンを楽しむと共に、公民館活動にも積極的に参加したいと考えています。

やる気十分

世田 正光

地御前公民館IT講習会には、三月に続いて五月中旬からも、ボランティアとして協力させていた

たガラスや割れたもので足の踏み場もない状態に、妻はウワツタ声でマア……と言って、あとの言葉がなまなまの数秒間の沈黙、三月二十四日十五時二十八分だった。忘れられない日になった。

く、皆な再び貝堀りを始めていた。災害時の通信手段村上 昭登
三月二十四日に発生した地震により被害を受けた方も多いと思います。幸いなことには人的被害が少なかったことです。それでも発生直後から家族や親戚の安否を確認するために、一番身近な電話が通じなくて不安な気持ちで過ごされたことでしょう。

砂浜で地震にあう鎌田 勲
私はそのとき、地御前神社西の牡蠣ひびのある浜辺で貝堀りをしていた。

突然地面が激しく揺れだした。周囲を見渡すと、立っている人、しゃがみ込む人、ざっと一〇〇人か二〇〇人が揺れに耐えていた。

すると、干上がった牡蠣ひびの立つ砂地や、堤防までのアオサ混じりの水溜まりのあちこちから、高さが一m前後で、両手指を輪にしたぐらいの太さの赤土色をした濁り水が一斉に噴き出してきた。

おお！あれが話しに聞く液状化現象か。二つ三つ並んで噴くのもあり、近いのはすそ五mぐらいの所からも噴き出した。二〇〇、三〇〇、数えきれない。

これからどうなるんだ。地割れは、津波は……そのときどうする。そうこうしているうちに静かになった。何故か帰り支度をする人もな

意外と分かりやすい藤岡 照雄

「葉書かEメールで返事を」とある。Eメール？想像はつくが実態は全く不明。かねて、このままでは異邦人になるのではこの思いはあった。だめでもともとという

じごぜんひろば



No. 54
平成14(2002)年
1月1日発行
地御前地区
コミュニティ推進協議会

新春を寿ぎ

コミュニティ25周年をお祝いたします

No. 54-H14

コミュニティは わがまちの誇り



地御前地区コミュニティ推進協議会
会長 相良 宏三

新年おめでとうございます。
昨年六月の当コ推協の総会において、思いがけなく会長という大役をお引き受けすることになりました。私はこれまで、コ推協体育部に所属して二十年近く、部員の方々とともに地域の皆様の健康保持とふれあいの輪づくりを目指してまいりました。

今年で発足二十五周年となるコ推協の、輝かしい歴史と実績を築いて来られた先輩方に比べ、私は浅学非才の身ではありますが、じごぜんの皆様のご指導とご協力を頼りにして、できるだけの努力をしてみたいです。

コ推協や関係団体の方々と住民有志の方とで一昨年結成した、「地御前地域づくり実行委員会」の活動(じごぜん花壇など)も始まっています。その委員会の会長にも任命され、身にあまる光栄と感じております。

年末に全世帯にお願いしました

させてもらって、みんなで御詠歌を奉唱した。暮れなずむ空に歌声が静かに広がっていった。
翌十三年の縁日供養も、更に子ども会との共催に発展したことは有難いことであった。来年二月には、ハナミズキの苗もお堂の左右に定植が決まっている。
永本ミチエ様が今まで長く供養を続けてこられたが、地藏堂は宝永七年(一七一〇年)に建立、石灯籠は文政三年(一八二〇年)に奉納されたと伝えられている。
また、廿日市市史資料編Ⅳにも『本尊は地藏菩薩にして真言宗である。神賀にありて境内五坪』と記されている。文化財として、わが町のシンボルとして、今後もみんなで守り伝承していけることを大変誇りに思っている。



鹿の子地藏堂

アンケート調査は、『より住み良いまちづくり』の資料とするものです。その結果は前述の「委員会」の活動の資料とするだけでなく、コ推協の活動にも生かすべきだと考えております。

新年度から五年間の、地御前のまちづくりについてのご意見をお寄せくださると同時に、私たちと一緒に『考え・話し合い・行動する』方の参加も歓迎いたします。

私は、地御前以外の地で暮らしたことがありません。ほかの街の良さを『存じの方にもお仲間になって欲しい』と思っています。「委員会」または「コ推協」のどちらかへの参加でも結構です。公民館へお申し出ください。

このように「委員会」と「コ推協」とは、『より住み良いまちづくり』のために、住民自身が『考え・話し合い・行動する』団体のそれぞれの組織の中で、コ推協の原点を問う一年となりそうです。

コ推協発足二十五周年に当たる今年、皆様とともにお願いできるような、いろいろな記念行事を考えています。こちらへのアイデア・ご意見もお寄せください。

「ことし」という一年が、皆様にとって、良い一年でありますようにお祈りいたします。

旬の味

じごぜん産かき

寒さが加わることに身がしまっておいしくなったかきは、じごぜん住民であれば、一度や二度ならず食膳に上がる筈。

さあ!二月十七日(日)のじごぜんかき祭りに向けてGO!

おあすめの18料理

お好み焼き風の生地をホットプレート上で10cmくらいの丸さに延ばし、薄い塩水でふり洗いポイルしたかき二ヶとネギをのせ、好みによって紅生姜を加え、生地が色づいたら裏返して焼き、お好みソースをかけて半分におろす。
アツアツのかきのネギ焼きのお焼きをどうぞ!

編集後記

十三年度地域づくり実行委員会会長 相良宏三、副会長(部長兼務)花つくり・打海由美子、意識調査・重富欣治、地図づくり・宮本育生、常任委員一省略。

コ推協前会長の吉本武様が旧ろう十四日、七十五歳で亡くなられた。副会長とも十数年、更に地区の町内会連協、同和推協、郷土文化保存会の会長等地域に尽力された。謹んでご冥福をお祈りします。

(前号訂正、円山氏の文で昨年11年前)

表彰

前会長 吉本武様

コ推協会則第15条細則にもとづき、昨年十月に表彰されました。会長として多年(八年)にわたるコミュニティ活動の振興と発展に貢献されたことによります。

地御前地域づくり実行委員会

(構成)コ推協常任理事会、町内会役員代表、公民館、小中学校、同PTA、保育園、JA、漁協、長寿会、商店会、青年会、郷文保存会、有志・有識者、事務局)

◎今年度事業

一、じごぜん花壇(昨年度継続)パンジーセットを12月15日配布す。春先には押し花教室を開催する予定。

二、地御前地区町内会区域別マップの作成(B2版)

三、町内会名、各戸表札名、公園、集会所、掲示板、病院等記載。年度内に全世帯配布予定。

三、まちづくりアンケートの実施。新年度から五年間の地御前まちづくり実施計画を立案する資料として、全世帯の意見集約を行う。12月15日頃配布す。

※1月9日までに各町内会班長までご提出頂くよう、よろしくお願いたします。

人に優しい まちづくりを願う

廿日市社会福祉協議会副会長
ささえ愛ネットはつかいち代表

吉 富 美智子

新たな21世紀を迎えて、私たちを取り巻く社会情勢は、少子、高齢化、核家族化など大きく様変わりしつつあります。そんな中、不況の風は容赦なく吹き荒れ、最近の新聞・テレビ等のマスメディアを通して流れてくる国内外のニュースも暗いものが多く、その中でも特に青少年に関わる犯罪には誰しも心を傷めるところです。更にまた、米国の同時多発テロ事件は、この世に生を受けた同じ人間として、如何なる理由があるうとも絶対に許されないものです。

「二人の困惑」「一人の命の重さ」にこだわり続け、永年微力ながら、ささえあい活動のけん引役を努めて来た私達にとっては、特にやりきれないものを感じずにはおれません。

私達はボランティア活動の実践を通して、多くの出会いを頂きました。その出会いは多種多様で、高齢者・障害者とはもとより、家庭崩壊の犠牲となった子供達、また退学すれすれを繰り返していた高

校生、小学校低学年から、いじめが原因で登校拒否を続け、それ以来学校に行けなくなった子供達との出会いを通して、夫婦のあり方、家庭における教育とは等々、考えさせられることが多く、また様々な死に出会うことで、死とは・生とは、そして、老いとは、など多くのことを学ばせて頂きました。そして私は、末期ガンなどの難病や交通事故で、30代あるいは40代、人生の半ば、多くのことをし残してターミナルステージに入られた方を通して、死生観も変わって来ましたが、車椅子の人となられた方との出会いを通して、全く人ごとではないということも思い知らされました。

言わば「お互いさま」なのです。お互い縁あってこの『地御前』に住まいすることになったもの同志です。私達が地域の中で「安心して生きるため」には、今こそお互いが支え合って行く必要があるのではないのでしょうか？そして少なからぬ人々が、そのことに気づき始めています。

この度、地域づくり実行委員会に参加して思いを新たにし、『地御前の地域づくり』が「人に優しいまちづくり」となりますことを、心から願ってやみません。

ぼくらのJOHUU・祭・JOHUU・祭

昨夏、はつかいち文化ホールで『VOICE 2001』21世紀の主人公は私たち「廿日市大会」が行われ、地御前小学校からは5年生3名が主題の「私のまち」を発表しました。それを披露します。

(編集の都合で一部を割愛させていただきました。発表順)

歴史のある

楽しい町 地御前

河 合 爽 之

ぼくたちの住んでいる地御前には、伝とう的な行事がたくさんあります。

祭りは、馬とぼしや管絃祭があるからとても楽しみです。馬とぼしは三百年前ぐらいからやっています。昔は馬を走らせていました。道が土だったから、馬が走ることでできたのだそうです。でも今は、アスファルトだから馬がすべるので走らせるのはやめました。だから今は、馬を歩かせて矢的に当たっています。ぼくは、馬が走ったところを見たことがないので見てみたいです。

学校のクラブで、郷土文化保存会の方から「地御前小学校のバスケットコートは、大とし神社の土をとって作ったんだよ」と、教え



地御前神社御陵衣祭舞楽

く島神社と同じように海の水につかっていて、うめたと海

かっていません。

管絃祭は、宮島のいく島神社の神様が、地御前神社に何日か遊びに来ます。そして、地御前神社の中でおどりをおどったりして遊んで、また船に乗って宮島に帰ります。昔は神社から神社まで、船で行き来できていたんだなと思いました。

地御前の昔のことを調べていると、昔の人たちのすばらしい知恵や力を知ることが出来ます。地御前には、今のぼくたちが感心したり楽しんだりできる古い物や伝とう行事があるから、それを大切にしていきたいです。それに、地御前は、自然が多くてやさしい人が多いから、住みこちがいい所です。こんな地御前をぼくは、大切にしていきたいです。

おいしいカキの

ふるさと地御前

横 山 翔 平

地御前は昔からカキの養殖がよくさかんです。そのカキの多くは、東京や大阪のレストランや店などに売られています。地御前カキのとくちょうは、身が大きくおいしいということです。

地御前でカキの養殖がよくさかになったのは、今から五十年ほど前のことです。今では地御前カキの仕事を営んでいる人は、約三百人にもなりました。

でも、ぼくは地御前の海がよくなってきたので、心配になりました。そして、カキの天てきを調べてみたら、やはり海がよくなりました。もうひとつ、いがいにも海のチヌも天てきだと言ったことでした。残念ですが、なぜチヌが天てきなのかは分かりませんでした。

今では、地御前の海岸をきれいにしようとして、海の日の清掃や地御前小学校の児童が清掃奉仕をするなど、色々な活動がされています。

ぼくは地御前のおいしいカキが大好きです。海がよくなってカキがとれなくなないように、これからも地域の人といっしょに、海をきれいにするための活動をつづけていきたいです。

また、地御前の海をきれいで豊かにするためには、森にたくさん木があって、そこからしみこんだ水が川に流れこんでいって、海に注ぎこむことが大切だと聞きました。これからは海だけでなく森や川もだいじにしていきたいです。そして、おいしいカキのふるさとを守っていききたいです。

自然の多い町 地御前

北 野 千奈美

私の町、地御前には、自然がたくさんあります。

昔、地御前のみたら川には、ホタルがたくさん飛んでいて、とてもきれいだったそうです。ザリガニやメダカなどいたそうです。海には、アマモが生えていて、タツノオトシゴがたくさんいたそうです。そして魚をしていると、カブトガニがあみひっかかるといったそうです。でも、たくさんいたカブトガニも、とうとういなくなってしまうました。今では、宮島水族館でしか見ることができません。

去年四年生の時に、そう合的な学習で、海にゴミ拾いに行きました。三学期に行った時は、なんとビデオデッキが捨てられていました。私は、わざわざ海ですてなくともいいのにと思いました。

そしてこの前、近所の田んぼや畑に見学に行ったら、田んぼにアオサがわいている所がありました。原因は、だんだん地から流れてきている水が田にたまり、暑い気温でアオサがわいてきたそうです。でも、そんな地御前にも、ホタルは数匹残っていました。五・十



西向寺山門本堂改修完成
本堂にお参りするお稚児さん
(平成13年10月28日)

手軽に楽しめる卓球

地御前公民館卓球クラブ代表者

田 中 敏 明

私どもの「じこぜんクラブ」は、